

科名 血液内科 血内-19(b)
 対象疾患名 移植前処置
 プロトコール名 BU1回投与+CA+CY

Rp	形態	ルート	薬剤名	量	時刻・コメント	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1	点滴注	側管	グラニセロンバッグ	1mg	30分かけて	↓	↓	↓	↓						
2	点滴注	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	3.2mg/kg 500mL	3時間かけて 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖はブスルフェクスの10 倍量にする	↓	↓	↓	↓						
3	点滴注	側管	グラニセロンバッグ ソルコーテフ	1mg 100mg	30分かけて					↓	↓				
4	点滴注	側管	キロサイド 5%ブドウ糖液	1400mg/m ² 500mL	3時間かけて 朝 12時間毎					↓	↓				
5	点滴注	側管	ソルコーテフ 5%ブドウ糖液	100mg 50mL	30分かけて					↓	↓				
6	点滴注	側管	キロサイド 5%ブドウ糖液	1400mg/m ² 500mL	3時間かけて 夕 12時間毎					↓	↓				
7	点滴注	側管	プロイメンド 生理食塩液	150mg 100mL	30分かけて								↓		
8	点滴注	側管	グラニセロンバッグ	1mg	30分かけて								↓	↓	
9	点滴注	側管	エンドキサン 生理食塩液	2250mg/m ² 500mL	3時間かけて								↓	↓	
10	点滴注	側管	ウロミテキサン 5%ブドウ糖液	900mg/m ² 50mL	30分かけて エンドキサン投与と同時に								↓	↓	
11	点滴注	側管	ウロミテキサン 5%ブドウ糖液	900mg/m ² 50mL	30分かけて エンドキサン投与4時間後								↓	↓	
12	点滴注	側管	ウロミテキサン 5%ブドウ糖液	900mg/m ² 50mL	30分かけて エンドキサン投与8時間後								↓	↓	

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

<ブスルフェクス>

・ブスルフェクスを、10倍量の生食、又は5%ブドウ糖液で希釈する。

・調整後は8時間以内に投与終了。

・痙攣予防として、フェニトインを内服する。

(ex:アレビアチン(100) 3T/3x 毎食後)

<キロサイド>

フルメトロン点眼併用

<エンドキサン>

・肥満患者には、投与量が過多にならないように、標準体重から換算した投与量を考慮すること。

・投与終了後24時間は150mL/時間以上の尿量を保つように、1日3L以上の輸液を投与するとともにメスナ(ウロミテキサン)を併用すること。患者の年齢及び状態を考慮し、輸液の量を調節すること。

・ウロミテキサンはエンドキサンの40%を1回量とする

年齢	エンドキサン	ウロミテキサン
40歳以下	2250 mg/m ²	900mg/m ²
41歳以上	2000 mg/m ²	800mg/m ²
50歳以上	1800 mg/m ²	720mg/m ²